

# 緑の地球と共に生きる

第24回公開講演会



Design by Hajime Abs

開会の挨拶  
森迫 清貴 京都工芸繊維大学学長

講演1 「エコロジスト南方熊楠」  
岩崎 仁 京都工芸繊維大学 環境科学センター 准教授

講演2 「南方マンダラと生態系」  
松居 竜五 龍谷大学 国際学部 教授

ディスカッション

閉会の挨拶  
柄谷 肇 京都工芸繊維大学環境科学センター長

2018年6月25日(月)

14:00 ~ 17:00

京都工芸繊維大学60周年記念ホール

入場無料

主催：京都工芸繊維大学環境科学センター <http://environ.kit.ac.jp>  
連絡先：606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町  
京都工芸繊維大学施設マネジメント課施設企画係 075-724-7083

第24回公開講演会  
—緑の地球と共に生きる—

2018年6月25日(月)午後2時～5時  
京都工芸繊維大学60周年記念ホール(入場無料)

開会の挨拶

京都工芸繊維大学 学長 森迫 清貴

講演1. 「エコロジスト南方熊楠」

京都工芸繊維大学 環境科学センター 准教授 岩崎 仁

略歴：京都大学大学院工学研究科工業化学専攻修了、論文博士(工学)。京都工芸繊維大学工業短期大学部写真工学科助手、同工芸学部物質工学科助手を経て、現職。南方熊楠顕彰会理事、日本写真学会理事・西部支部長。著書に、『南方熊楠の森』方丈堂出版(松居竜五と共著)など。

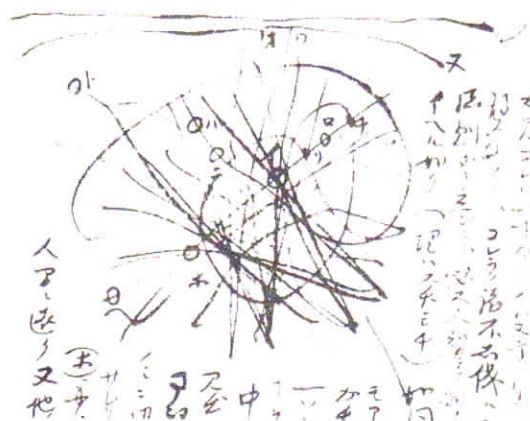
要旨：南方熊楠(1867-1941)は、民俗学者、思想家として評価・研究対象であると同時に、日本の先駆的環境保護活動家、エコロジストとして評価されている。近年、新資料が発見されるなど彼の研究活動について調査が進み、これまでと異なる新しい南方熊楠像が形成されつつある。この講演では、最近の研究成果を紹介しながらエコロジストとしての側面を中心に、南方の生涯を概観する。

講演2. 「南方マンダラと生態系」

龍谷大学 国際学部 教授 松居 竜五

略歴：東京大学大学院総合文化研究科博士課程中退、論文博士(学術)。東京大学教養学部学生担当講師、ケンブリッジ大学客員研究員等を経て、現職。南方熊楠顕彰会理事、日本国際文化学会常任理事。『南方熊楠 一切智の夢』朝日新聞社(1992年度小泉八雲奨励賞受賞)、『南方熊楠 複眼の学問構想』慶應義塾大学出版会(2017年度角川財団学芸賞受賞)など著書多数。

要旨：南方熊楠が1901年から1904年の那智滞在期に真言僧の土宜法龍に送った書簡には、「南方マンダラ」と呼ばれる独自の思想が示されている。この時期の熊楠は、那智山中で隠花植物を中心とするさまざまな生物の調査をおこなっており、「南方マンダラ」の中にそうした生態系に向けた視線が織り込まれていることは重要である。本講演では、熊楠の思想における生態系理解から「南方マンダラ」への展開の道筋を分析する。



土宜法龍宛書簡より

閉会の挨拶

京都工芸繊維大学 環境科学センター長 柄谷 肇